

平成19年4月

試験研究業務月報



傾斜地で背の高いタケノコを横からかじっている



水田部分の木陰で休む

課題名 和牛放牧で竹林拡大防止効果を調査

要 旨

昨年引き続き約 20a 分の皆伐した竹林へ和牛を放牧し、タケノコの採食状況等を調査しています。昨年は発筍したタケノコの 97 %以上を牛が採食し、竹林抑制の可能性があったことがわかりました。今年の発筍は昨年に比べやや早い傾向にありますが、昨年採食された影響か現在のところ、タケノコは笹のようなものが多く出ています。

京都府畜産技術センター
(碓高原牧場)